

魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内> (γ)

(1/7)

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目		
			Cs-134 (Bq/kg(生))	Cs-137 (Bq/kg(生))	Cs合計 (Bq/kg(生))
太田川沖合1km付近(T-S1)	カナガシラ(筋肉)	2021/10/7	< 3.7E+00	< 3.4E+00	ND
太田川沖合1km付近(T-S1)	ガザミ(全体)	2021/10/7	< 3.5E+00	< 3.6E+00	ND
太田川沖合1km付近(T-S1)	クロソイ(筋肉)	2021/10/7	< 3.7E+00	< 3.2E+00	ND
太田川沖合1km付近(T-S1)	コモンカスベ(筋肉)	2021/10/7	< 3.7E+00	< 3.4E+00	ND
太田川沖合1km付近(T-S1)	二ベ(筋肉)	2021/10/7	< 3.2E+00	< 3.2E+00	ND
太田川沖合1km付近(T-S1)	ヒラメ(筋肉)No.1	2021/10/7	< 4.2E+00	< 3.1E+00	ND
太田川沖合1km付近(T-S1)	ホウボウ(筋肉)	2021/10/7	< 3.7E+00	< 3.5E+00	ND
太田川沖合1km付近(T-S1)	マゴチ(筋肉)	2021/10/7	< 3.6E+00	< 3.4E+00	ND
小高区沖合3km付近(T-S2)	カスザメ(筋肉)	2021/10/7	< 4.0E+00	< 3.4E+00	ND
小高区沖合3km付近(T-S2)	ガザミ(全体)	2021/10/7	< 3.6E+00	< 3.6E+00	ND

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
  - ・不等号(< : 小なり)は、検出限界値未満(ND)を表す。
  - ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。
  - ・分析機関：東京パワーテクノロジー(株)
  - ・ $0.0E \pm 0$ とは、 $0.0 \times 10^{\pm 0}$ であることを意味する。
- (例) 3.1E+01は $3.1 \times 10^1$ で31, 3.1E+00は $3.1 \times 10^0$ で3.1, 3.1E-01は $3.1 \times 10^{-1}$ で0.31と読む。

魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内>(γ)

(2/7)

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目		
			Cs-134 (Bq/kg(生))	Cs-137 (Bq/kg(生))	Cs合計 (Bq/kg(生))
小高区沖合3km付近(T-S2)	ヒラメ(筋肉)No.1	2021/10/7	< 3.8E+00	< 3.5E+00	ND
小高区沖合3km付近(T-S2)	ヒラメ(筋肉)No.2	2021/10/7	< 3.9E+00	< 3.6E+00	ND
請戸川沖合3km付近(T-S3)	カスザメ(筋肉)	2021/10/13	< 3.4E+00	< 3.5E+00	ND
請戸川沖合3km付近(T-S3)	ガザミ(全体)	2021/10/13	< 3.5E+00	< 4.2E+00	ND
請戸川沖合3km付近(T-S3)	ヒラメ(筋肉)No.1	2021/10/13	< 3.6E+00	< 3.7E+00	ND
請戸川沖合3km付近(T-S3)	ヒラメ(筋肉)No.2	2021/10/13	< 3.3E+00	< 3.1E+00	ND
請戸川沖合3km付近(T-S3)	ホウボウ(筋肉)	2021/10/13	< 3.6E+00	2.9E+00	2.9E+00
請戸川沖合3km付近(T-S3)	ホシザメ(筋肉)	2021/10/13	< 4.0E+00	< 3.5E+00	ND
1F敷地沖合3km付近(T-S4)	イシガレイ(筋肉)	2021/10/13	< 3.3E+00	< 3.8E+00	ND
1F敷地沖合3km付近(T-S4)	カスザメ(筋肉)	2021/10/13	< 3.8E+00	< 3.1E+00	ND

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
  - ・不等号(<:小なり)は、検出限界値未満(ND)を表す。
  - ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。
  - ・分析機関：東京パワーテクノロジー(株)
  - ・ $○.○E±○$ とは、 $○.○×10^{±○}$ であることを意味する。
- (例) 3.1E+01は $3.1×10^{-1}$ で31, 3.1E+00は $3.1×10^0$ で3.1, 3.1E-01は $3.1×10^{-1}$ で0.31と読む。

魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内>(γ)

(3/7)

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目		
			Cs-134 (Bq/kg(生))	Cs-137 (Bq/kg(生))	Cs合計 (Bq/kg(生))
1 F 敷地沖合 3 k m 付近(T-S4)	ガザミ(全体)	2021/10/13	< 4.0E+00	< 3.1E+00	ND
1 F 敷地沖合 3 k m 付近(T-S4)	ヒラメ(筋肉)No.1	2021/10/13	< 2.9E+00	< 3.8E+00	ND
1 F 敷地沖合 3 k m 付近(T-S4)	ヒラメ(筋肉)No.2	2021/10/13	< 3.2E+00	< 4.0E+00	ND
1 F 敷地沖合 3 k m 付近(T-S4)	ホウボウ(筋肉)	2021/10/13	< 4.0E+00	< 3.5E+00	ND
1 F 敷地沖合 3 k m 付近(T-S4)	マダイ(筋肉)	2021/10/13	< 3.7E+00	< 3.5E+00	ND
熊川沖合 4 k m 付近(T-S8)	アカエイ(筋肉)	2021/10/21	< 3.6E+00	4.2E+00	4.2E+00
熊川沖合 4 k m 付近(T-S8)	カスザメ(筋肉)	2021/10/21	< 4.0E+00	< 3.3E+00	ND
熊川沖合 4 k m 付近(T-S8)	ガザミ(全体)	2021/10/21	< 4.0E+00	< 3.9E+00	ND
熊川沖合 4 k m 付近(T-S8)	コモンカスベ(筋肉)	2021/10/21	< 3.7E+00	< 3.5E+00	ND
熊川沖合 4 k m 付近(T-S8)	トビエイ(筋肉)	2021/10/21	< 3.3E+00	< 3.4E+00	ND

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年)，Cs-137(約30年)
  - ・不等号(<：小なり)は、検出限界値未満(ND)を表す。
  - ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。
  - ・分析機関：東京パワーテクノロジー(株)
  - ・〇.〇E±〇とは、〇.〇×10<sup>±〇</sup>であることを意味する。
- (例) 3.1E+01は3.1×10<sup>1</sup>で31，3.1E+00は3.1×10<sup>0</sup>で3.1，3.1E-01は3.1×10<sup>-1</sup>で0.31と読む。

魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内>(γ)

(4/7)

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目		
			Cs-134 (Bq/kg(生))	Cs-137 (Bq/kg(生))	Cs合計 (Bq/kg(生))
熊川沖合4 km付近(T-S8)	ヒラメ(筋肉)No.1	2021/10/21	< 3.8E+00	< 3.0E+00	ND
熊川沖合4 km付近(T-S8)	ヒラメ(筋肉)No.2	2021/10/21	< 3.8E+00	< 3.8E+00	ND
熊川沖合4 km付近(T-S8)	ホウボウ(筋肉)	2021/10/21	< 3.2E+00	< 3.7E+00	ND
熊川沖合4 km付近(T-S8)	マトウダイ(筋肉)	2021/10/21	< 4.0E+00	< 3.5E+00	ND
小高区沖合1.5 km付近(T-B1)	カスザメ(筋肉)	2021/10/5	< 4.1E+00	< 3.5E+00	ND
小高区沖合1.5 km付近(T-B1)	カナガシラ(筋肉)	2021/10/5	< 3.6E+00	< 3.7E+00	ND
小高区沖合1.5 km付近(T-B1)	コモンカスベ(筋肉)	2021/10/5	< 3.0E+00	< 3.3E+00	ND
小高区沖合1.5 km付近(T-B1)	ショウサイフグ(筋肉)	2021/10/5	< 4.0E+00	< 3.3E+00	ND
小高区沖合1.5 km付近(T-B1)	チダイ(筋肉)	2021/10/5	< 3.8E+00	< 3.7E+00	ND
小高区沖合1.5 km付近(T-B1)	ヒラメ(筋肉)No.1	2021/10/5	< 3.6E+00	< 3.5E+00	ND

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年)，Cs-137(約30年)
  - ・不等号(<：小なり)は、検出限界値未満(ND)を表す。
  - ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。
  - ・分析機関：東京パワーテクノロジー(株)
  - ・〇.〇E±〇とは、〇.〇×10<sup>±〇</sup>であることを意味する。
- (例) 3.1E+01は3.1×10<sup>1</sup>で31，3.1E+00は3.1×10<sup>0</sup>で3.1，3.1E-01は3.1×10<sup>-1</sup>で0.31と読む。

魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内>(γ)

(5/7)

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目		
			Cs-134 (Bq/kg(生))	Cs-137 (Bq/kg(生))	Cs合計 (Bq/kg(生))
小高区沖合15km付近(T-B1)	ホウボウ(筋肉)	2021/10/5	< 3.2E+00	< 3.0E+00	ND
小高区沖合15km付近(T-B1)	ホシザメ(筋肉)	2021/10/5	< 3.2E+00	< 3.7E+00	ND
小高区沖合15km付近(T-B1)	マコガレイ(筋肉)	2021/10/5	< 3.2E+00	< 3.4E+00	ND
小高区沖合15km付近(T-B1)	マダイ(筋肉)	2021/10/5	< 3.7E+00	< 3.1E+00	ND
小高区沖合15km付近(T-B1)	マトウダイ(筋肉)	2021/10/5	< 3.6E+00	< 3.7E+00	ND
小高区沖合15km付近(T-B1)	ムシガレイ(筋肉)	2021/10/5	< 3.4E+00	< 3.4E+00	ND
小高区沖合15km付近(T-B1)	メイタガレイ(筋肉)	2021/10/5	< 3.3E+00	< 3.1E+00	ND
請戸川沖合18km付近(T-B2)	カナガシラ(筋肉)	2021/10/5	< 3.6E+00	< 3.2E+00	ND
請戸川沖合18km付近(T-B2)	コモンカスベ(筋肉)	2021/10/5	< 3.6E+00	< 3.8E+00	ND
請戸川沖合18km付近(T-B2)	シヨウサイフグ(筋肉)	2021/10/5	< 2.9E+00	< 3.7E+00	ND

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
  - ・不等号(<:小なり)は、検出限界値未満(ND)を表す。
  - ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。
  - ・分析機関：東京パワーテクノロジー(株)
  - ・ $0.0E \pm 0$ とは、 $0.0 \times 10^{\pm 0}$ であることを意味する。
- (例) 3.1E+01は $3.1 \times 10^1$ で31, 3.1E+00は $3.1 \times 10^0$ で3.1, 3.1E-01は $3.1 \times 10^{-1}$ で0.31と読む。

魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内>(γ)

(6/7)

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目		
			Cs-134 (Bq/kg(生))	Cs-137 (Bq/kg(生))	Cs合計 (Bq/kg(生))
請戸川沖合18km付近(T-B2)	チダイ(筋肉)	2021/10/5	< 3.6E+00	< 3.8E+00	ND
請戸川沖合18km付近(T-B2)	ホウボウ(筋肉)	2021/10/5	< 3.9E+00	< 3.4E+00	ND
請戸川沖合18km付近(T-B2)	ホシザメ(筋肉)	2021/10/5	< 3.1E+00	< 3.9E+00	ND
請戸川沖合18km付近(T-B2)	マダイ(筋肉)	2021/10/5	< 2.9E+00	< 3.1E+00	ND
請戸川沖合18km付近(T-B2)	マトウダイ(筋肉)	2021/10/5	< 4.1E+00	< 3.3E+00	ND
請戸川沖合18km付近(T-B2)	メイタガレイ(筋肉)	2021/10/5	< 3.1E+00	< 3.6E+00	ND
1F敷地沖合10km付近(T-B3)	カスザメ(筋肉)	2021/10/19	< 3.8E+00	3.5E+00	3.5E+00
1F敷地沖合10km付近(T-B3)	シヨウサイフグ(筋肉)	2021/10/19	< 4.2E+00	< 3.6E+00	ND
1F敷地沖合10km付近(T-B3)	チダイ(筋肉)	2021/10/19	< 2.8E+00	< 3.4E+00	ND
1F敷地沖合10km付近(T-B3)	ホウボウ(筋肉)	2021/10/19	< 3.5E+00	< 3.1E+00	ND

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
  - ・不等号(< : 小なり)は、検出限界値未満(ND)を表す。
  - ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。
  - ・分析機関：東京パワーテクノロジー(株)
  - ・ $0.0E \pm 0$ とは、 $0.0 \times 10^{\pm 0}$ であることを意味する。
- (例) 3.1E+01は $3.1 \times 10^1$ で31, 3.1E+00は $3.1 \times 10^0$ で3.1, 3.1E-01は $3.1 \times 10^{-1}$ で0.31と読む。

魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内>(γ)

(7/7)

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目		
			Cs-134 (Bq/kg(生))	Cs-137 (Bq/kg(生))	Cs合計 (Bq/kg(生))
1 F敷地沖合10km付近(T-B3)	マトウダイ(筋肉)	2021/10/19	< 4.1E+00	< 4.1E+00	ND
2 F敷地沖合10km付近(T-B4)	アカエイ(筋肉)	2021/10/19	< 2.8E+00	< 3.2E+00	ND
2 F敷地沖合10km付近(T-B4)	カスザメ(筋肉)	2021/10/19	< 3.2E+00	< 3.5E+00	ND
2 F敷地沖合10km付近(T-B4)	コモンカスベ(筋肉)	2021/10/19	< 3.8E+00	< 3.6E+00	ND
2 F敷地沖合10km付近(T-B4)	ショウサイフグ(筋肉)	2021/10/19	< 3.7E+00	< 4.2E+00	ND

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
  - ・不等号(<:小なり)は、検出限界値未満(ND)を表す。
  - ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。
  - ・分析機関：東京パワーテクノロジー(株)
  - ・ $0.0E\pm 0$ とは、 $0.0\times 10^{\pm 0}$ であることを意味する。
- (例) 3.1E+01は $3.1\times 10^{-1}$ で31, 3.1E+00は $3.1\times 10^0$ で3.1, 3.1E-01は $3.1\times 10^{-1}$ で0.31と読む。